

かめぶん寄席

三代目

林家菊丸

紙芝居と落語会

亀山市文化大使



第1部 紙芝居 ～林家菊丸ができるまで～

- ・朗読 日本文学研究家 河原徳子
- ・対談 林家菊丸 × 河原徳子

第2部 落語会 林家菊丸



©松原豊

日本文学研究家 河原徳子

2025年 7 月 13 日(日)

13 時 30 分開演 13 時開場
亀山市文化会館大ホール

入場料
全席自由 1,000 円(税込)

6/1(日)チケット発売

チケット発売所 亀山市文化会館
亀山エコー案内所
鈴鹿ハンター
フジヤ
青少年研修センター
(一社)亀山市観光協会

主催/公益財団法人亀山地域社会振興会(亀山市文化会館)

共催/三代目林家菊丸亀山の会 後援/レディオキューブ FM 三重

三代目 林家菊丸 プロフィール

- 1974 年 三重県亀山市に生まれ、15歳より四日市市へ移転
- 1993 年 三重県立川越高校卒業ののち、大阪産業大学入学(中退)
- 1994 年 四代目林家染丸に入門。林家染弥の芸名を拝受
- 1996 年 うめだ花月シアターにて初舞台。吉本興業所属となる
- 2003 年 初の独演会開催(大阪・トリイホール)
- 2014 年 三代目林家菊丸襲名

古典落語から創作落語まで持ちネタは多数多彩。特に女性の演じ方には定評がある。

早くからその実力が認められ、関西を中心に活躍。

各地で行う独演会では、滑稽噺に人情噺も加え、泣き笑いの演出が好評を呼んでいる。

2014 年9 月、林家一門の推挙、公益社団法人上方落語協会の承認により、上方落語の大名跡、林家菊丸を三代目として 115 年ぶりに襲名。その大抜擢が大きな話題となる。

「染弥改メ三代目林家菊丸襲名披露公演」を、なんばグランド花月を皮切りに国内外25 カ所で開催。

2014 年より1 月1 日放送『笑点』特番(日本テレビ系列)東西大喜利に西軍メンバーとしてレギュラー出演。全国区進出を果たした。数々の受賞歴の中でも、若干48歳で文化庁芸術祭において「大賞」受賞は快挙であり、名実ともに人気落語家の1 人である。

2004 年 なにわ芸術祭新進落語家コンクール『新人奨励賞』(産経新聞社主催)

2013 年 大阪文化祭賞『奨励賞』(大阪市主催、橋下徹市長より表彰)

2014 年 第8 回繁昌亭奨励賞(公益社団法人上方落語協会主催)

2016 年 第10 回繁昌亭大賞(同上)

2022 年 令和4 年度第77 回文化庁芸術祭大衆芸能部門「大賞」

《定紋》乱菊 《出囃子》鎧づけ

《レギュラー番組》 ● KBS 京都ラジオ 『よしもとハッピーアワー水曜日』

● ZTV(ケーブルテレビ)『教えて先生』リポーター

《主な役職》 ● 三重県 『亀山市文化大使』(2014年～)

● 国立大学法人 三重大学 社会連携 『特任教授』(2015 年～)

日本文学研究家 河原徳子プロフィール

徳島市生まれ。

◇「朗読文学サークル パティオ」 主宰・講師

◇2003 年より三重県生涯学習センター「シリーズ文学」講師

◇愛知県豊明市立図書館・安城市中央図書館・岐阜県立池田町図書館・菰野町文学講座・亀山市立図書館その他で、古典文学から日本近代文学まで、文学講座講師をつとめる。

◇2008 年、三重県総合文化センターにて、《源氏物語を原文で読む》

講座をスタート。以後、『枕草子』『徒然草』平家物語』『伊勢物語』

『蜻蛉日記』『おくのほそ道』『方丈記』 他の古典文学作品を講義。

◇鈴鹿市文芸賞選考委員、 鈴鹿市文化財保護審議会委員

◇斎藤緑雨文化賞授賞

◇著書 『となりの文豪』(風媒社)・『ものがたりの舞台』(風媒社)その他